つがるじゃみせん

# 建築三味線あべむ

津軽三味線全国コンクールで名を馳せる若手奏者を中心とした 津軽三味線民族音楽ユニット。メンバーの中心となる阿部 金三郎・銀三郎兄弟は、全国コンクールの優勝経験も有り、 津軽三味線演奏家の中で群を抜く実力と実績を持つ。あべや の舞台は演奏はもちろん、巧みなトークを交えた邦楽エンターテイメントを身上に日々研鑽を重ねている。

#### 知っていますか? ~10月1日は「国際音楽の白」です~

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の自」とすることとしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の自」と定めています。

#### 令和2年度

ぶんかげいじゅつ こども いくせい そうごう じぎょう

## 文化芸術による子供育成総合事業



#### 文化芸術による子供育成総合事業 ―巡回公演事業―

か くに いちりゅう ぶんかげいじゅつだんたい しょうがっこう など こうえん ことも 我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが またいげいじゅつ かんしょう きかい え ことも はっそうりょく 優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション のうりょく いくせい しょうらい げいじゅつか いくせい こくみん げいじゅつかんしょうのうりょく こうじょう もくてき 能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的 としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



#### あべやの由来

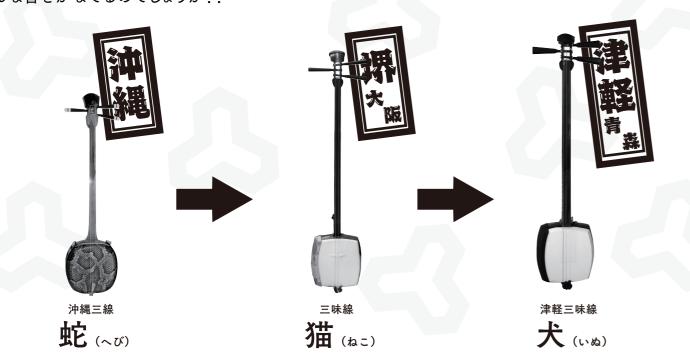
カル きょうだい みょうじ あ べ とうほくちほう ひろ っか ユニット名である "あべや" は兄弟の名字「阿部」と、東北地方で広く使われている「さあ、行こう!」という方言の "あべや"を掛けています。

### 津軽三味線とは

つがるじゃみせん つがるちほう げんざい あおもりけんせいぶ せいりつ しゃみせんおんがく もともと つがるちほう みんよう ばんぞう 津軽三味線は、津軽地方(現在の青森県西部)で成立した三味線音楽です。元々は津軽地方の民謡の伴奏 はち たた はじ とくちょうてき そうほう はや げんだい に用いられていましたが、その撥を叩きつけるように弾く特徴的な奏法やテンポの速さなどによって、現代においてはれっきとした「独奏楽器」として認識されています。形は弦楽器(ギターなど)ですが、撥をたたきつける打楽器の要素をもつ、とても珍しい楽器です。

## プログラング ままま ままま であっき しょう はまま 三味線の歴史

三味線の歴史は、15世紀頃に中国の弦楽器 三弦(サンチェン)が琉球(現在の沖縄)に伝わり発展した三線という楽器にたどることができます。現在、私たちが知っている三味線はこの三線をかいりょうがらきした楽器といわれています。琉球の三線は、交易船「北前船」が全国各地をまわるうちに三味線となり、青森の津軽地方ではじめて津軽三味線となりました。同じ三本の弦をおもいた楽器ですが、いろんな土地で楽器を作ったために使われる素材も改良されてきました。(沖縄は、蛇の皮。堺は、猫の皮。津軽では犬の皮を使用。)素材が変われば音色も変わる?! 津軽三味線はどんな音をかなでるのでしょうか?!



## 建設三味線邦第2三のドレバ目

#### プログラム

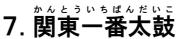
- びゃっこぎょうれつ **1. 白狐行列**
- 2. 妖鬼太鼓
- 3. 飛舞
- 4. 尺八ソロ演奏
- 5. 嵐
- 6. 津軽三味線曲弾き対決











- 8. 太鼓教室
- 9. 地元の民謡

- 10. 日本民謡紀行
- 11. 牛深ハイヤ節
- 12. 安来節 ~どじょう掬い~



- 13. みんなでソーラン!
- 14. 江戸壽獅子舞



- 15. 校歌合奏
- 16. 津軽じょんがら節
- 1 7. 銭太鼓



※曲目は変更の可能性があります。